



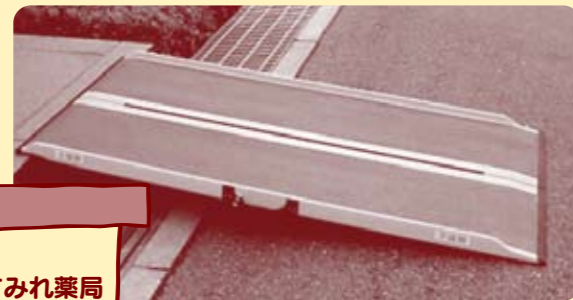
すみれ薬局だより

秋号

2008.No.23



すみれ薬局の玄関に念願のスロープが設置できることになりました。2つ折りの簡易携帯用スロープです。敷地面積や建物の構造上、造り付けの立派なものではありませんが、車イスやベビーカーで来られる方、階段が無理な方にも十分対応できます。普段は玄関そばの収納庫に保管していますので、来局の際、ひと声かけていただければ、2~3分でスロープが簡単に設置できます。ぜひご利用ください。



簡易携帯用スロープ

すみれ薬局

健常者も障がい者も、赤ちゃんもお年寄りも、お金を持っていようといまいと、すべての人に平等な社会をめざしてがんばっていきましょう。



原水禁世界大会に参加して

先日、初めて原水禁世界大会(長崎)に参加してきました。その大会の中で、「核兵器がこの世界に存在する限り、私たちは潜在的にヒバクシャである」という言葉が印象に残っています。その言葉を聞いて、核兵器廃絶の問題、世界平和の実現の問題は、戦争で被害を受けた人々だけの問題ではなく、現在を生き、未来を紡いでいこうとする私たちみんなの問題であるということを感じることができました。私たちみんなの力で、核兵器のない平和な世界を創っていきましょう。

ひまわり薬局/本高勝久



(有)健康共同ファルマ すみれ薬局

〒860-0811熊本市本荘2丁目14-13
TEL096-375-9100 FAX096-375-9101

■開局時間

曜日	時間
月~金	午前9時~午後5時30分
水	午前9時~午後7時30分
土	午前9時~午後1時00分
日・祝	休業

もりもりもりあがる雲へ歩む

昨年、連れ合いが北海道釧路から水俣病の講演に呼ばれました。これ幸いとノコノコついていったら、最大の誤算はこの人は飛行機に乗れないこと。陸路北海道まで寝台列車と新幹線で鉄道の旅を十分すぎるほど楽しみました。

薬局で陸路北海道へという話をしたら、「事務長、車でいかれるんですか?」の質問。『バカなこと言うんじゃないよ...』と、内心思ったのですが、そのバカをやった人たちがいます。北海道で開かれた洞爺湖サミットに向けて、水俣病キャラバン宣伝カーが水俣から札幌まで駆け抜けました。救済を求めつづける患者さんたちの命がけの行動でした。

近畿で水俣病裁判が起こされようとしています。水俣現地から職員が手分けして患者さんを訪ね歩きます。たった一本の九州なまりの電話の声を頼りに待つ人のもとへ。歩く、歩く。駅の階段を、田んぼのあぜ道を。電車やバス、モノレールを乗り継いで、見知らぬ土地を歩き回りました。それだけに、ドアチャイムが鳴ったときの患者さんたちの驚きようは、ドキュメンタリー映画の一場面のようなものでした。

日ごろ、薬剤師も薬局で処方せんを待つだけでなく、訪問服薬指導で地域を駆け回っています。待つ人のもとへ、きょうも歩く。

(水俣さくら薬局/事務長・山近 茂)